

隠岐の島町

2009年(平成21年)10月22日発行

議会だより

10月号

「さいがい」がおこらないように！
記念植樹をする子どもたち



平成19年8月隠岐豪雨災害復旧事業竣工記念式



災害復旧を喜ぶ住民の皆さん

もくじ

- 9月定例会補正予算・条例など・・・P2～P4
- 総括質疑・特別委員会・・・・・・・P5～P7
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・P8～P9
- 各常任委員会・・・・・・・・・・・・・・P10
- 広域連合議会・議員研修・陳情・・・P11～P12

どうなる？ 八尾川観光遊覧船

町が観光遊覧船を購入

9月定例議会は9月8日に開会され、提案された全議案を可決・承認し、9月28日閉会した。しかし、平成21年度一般会計補正予算には2名の議員が反対した。

主な議案は、地域の活性化や生活対策・公共投資対策を中心とした4億7500万円の一般会計補正予算、条例改正、工事請負契約、物品購入契約締結、名誉町民の選定同意案件のほか平成20年度各会計決算認定などである。中でも、町が観光振興を目的として購入する観光遊覧船は2隻で約963万円であるが、管理運営体制も未定であることから、一部の議員からは心配する声や反対する声もあった。町執行部は、当初の目的を達成するように、運営事業者とは綿密な連携を図り、事業を推進することが求められる。

2隻で963万円



観光の目玉となるか八尾川遊覧！

反対討論

是津輝和 議員

私は、議第71号 平成21年度隠岐の島町一般会計補正予算（第3号）に反対をする。

反対の理由は次のとおり。

常任委員会での説明では隠岐の島町が購入し、事業の委託先は隠岐の島町観光協会、運営管理は島後観光船を予定しているとのことだったが、議会での副町長の説明では委託先は未定とのこと。

私は、隠岐の島町の振興にとって真に必要な事業であれば、充分に調査研究の上、事業の実施体制も含めた計画を策定し、当初予算に計上して提案すべきだと考える。また、やる気はあるが初期投資は難しい人等への対応を、安易に「公設民営」で行うのではなく、資金を助成して、やる気のある人を支援していくのが行政の責務と考える。

「観光を基軸としたまちづくり」を唱えている隠岐の島町にとって、観光産業に関わる人材育成は喫緊の課題の一つである。

今回のような「公設民営」を行っていたら甘えの構造が定着し決して人材は育たない。更に、「管理運営体制はこれから考える。」

とは言語道断であり、今回の補正予算は認めるわけにはいかない。よって私は、八尾川観光遊覧船事業の再考を求めて補正予算に反対する。

以上

経済危機対策 公共投資交付金を 活用するもの

◆町営住宅改良に

2260万円

町営住宅の環境整備として70戸余りの住宅の白アリ防除と防音対策をする。西郷地区の朝日が丘団地、五箇地区の西見団地、田部谷団地、都万地区の仁万団地が対象。

◆学校教育環境整備に

6870万円

学校の教員用パソコン購入、デジタルテレビ購入、暖房器具の更新、学校名の銘板の取替え、図書・教材の購入、学校再編によるスクールバス停留所整備などの環境整備をする。

◆農業活性化事業に

1750万円

企業の農業参入・連携を支援するため補助金を交付する。内容は、原木シイタケ生産施設の改良や牛舎監視システムを整備するもので2業者に補助金を交付する。

◆漁港漁業集落整備に

3700万円

箕浦集落道の舗装工事と、蛸木漁港の物揚場を整備する。

主な歳入

■地方交付税が

5760万円増額

今年の地方交付税は、総額71億2400万円が交付決定になり、増額補正する。

■国県の負担金・補助金

2億8940万円増額

地域活性化や生活対策の臨時交付金、子育て応援特別手当、道路改良や漁港改良、企業の農業参入、福祉対策、教育環境の整備等の補助金など。

■繰越金や基金からの繰入金

6860万円増額

前年度の決算が確定したことによる繰越金や、生活対策臨時交付金積立分からの増額。

主な歳出

生活対策交付金を 活用するもの

■町債（借金を

5850万円増額

橋の整備や防災無線整備のため借入れる。

◆児童公園の遊具整備に

550万円

港町児童公園や旧加茂保育所の遊具を整備する。



遊具が足りない児童公園

◆道路施設改良事業に

660万円

那久路地区や油井地区などの道路側溝の改良や舗装・交通安全設備を整備する。

◆堆積土砂の取除きに

310万円

西郷・五箇・布施地区の農林道が災害等により土砂が堆積したため、この土砂を取除く。

◆観光遊覧船購入に

963万円

魅力ある島後の観光を展開し、満足度アップと観光客増大を目的に、歴史物語の多い西郷港・八尾川めぐりの遊覧事業を。遊覧船は、長さ9・6m、13人乗りで料金は大人一人1500円、3月から11月まで運行の予定。なお、運行委託先は検討中である。



「隠岐の島町立」に名称変更を



◆学校給食センター施設

整備に750万円

給食調理における食中毒菌の殺菌をするための器具や調理器具を購入。

◆温水プール施設整備に

3500万円

施設の老朽化にともない、熱源機器の取替えをする。

その他の補正

◆高齢者福祉対策に
1000万円

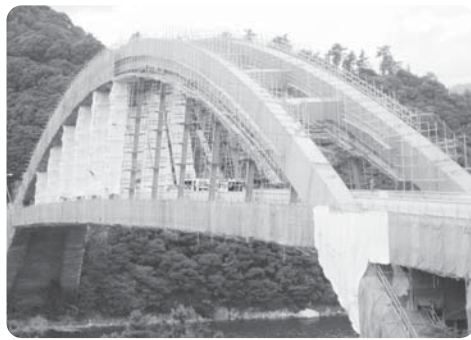
民間企業が認知症対応型のデイサービスセンターを建設するため、建設費用6000万円のうち1000万円を補助する。

◆防災行政無線の更新に
2480万円

都万支所の防災無線の操作機器の更新と、戸別受信機1000台を購入する。

◆西郷大橋整備に
2950万円

県が行う西郷大橋保全のための塗装改良工事に町が負担するもの。



化粧直しの西郷大橋

◆町道の橋梁改良に
2000万円追加

浜那久の浜橋改良のため、基礎杭工事が必要となり追加するもの。

◆観光施設整備に
420万円

隠岐国分寺駐車場の舗装工事をするもの。

◆子育て応援特別手当に
1440万円

国が子育て支援のため特別手当を給付するもの。対象児童は、平成21年度において小学校就学前の児童で、平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた(3歳、5歳)児童で一人当たり36000円が支給される。隠岐の島町の対象者数は375人(339世帯)。(この事業は中止です。)

主な条例改正

□国民健康保険条例の改正は、平成21年10月から平成23年3月までの間の出産に対して、出産育児一時金「35万円」を「39万円」に引き上げるもの。

□学校設置条例の改正は学校再編により、平成22年4月1日に大久小・飯田小・那久小・中村中布施中学校を廃止し、更に中村小と布施小学校を廃止して新たに「北小学校」を設置するもの。



廃止の小学校

工事請負契約

■島後清掃センターのクレーン更新工事
請負業者
兵庫県尼崎市
榎タクマ
請負金額 7350万円

物品購入契約

■隠岐油槽所
タンクローリー購入
契約業者
隠岐の島町
(株)カーテックス
契約金額 4873万円
購入物品
石油タンクローリー
3台

隠岐の島町 名誉町民が決定

合併5周年を記念し、隠岐の島町名誉町民選考審議会に次の7名を諮問して同意の答申を得たので議会で承認した。砂原秀遍氏を除く6名は合併前の町村で選定・顕彰された方々です。

○故永海佐一郎氏 隠岐の島町中町 旧西郷町
○故若林 通照氏 隠岐の島町原田 旧西郷町
○故中川 秀恭氏 東京都多摩市 旧西郷町
○寛 榮一氏 隠岐の島町西村 旧西郷町
○故村上 八束氏 隠岐の島町郡 旧五箇村
○故横地 治男氏 隠岐の島町平 旧西郷町
○砂原 秀遍氏 京都市南区 隠岐の島町

砂原 秀遍氏の事績

砂原氏は、大正14年、隠岐の島町中村に生まれ、昭和22年に隠岐国分寺の住職に就任し本堂再建に尽力した。故郷「隠岐」に対する愛郷心が強く京都島根県人会名誉会長、関西隠岐人会顧問等を歴任、隠岐島の観光振興に大きく寄与された。

各種委員

■固定資産評価審査委員会委員の選任
(敬称略)
東町 脇田 猛
山田 田中井敏勝
都万 西山哲男
加茂 野津 千春

■人権養護委員の推薦
(敬称略)

予算・条例等に対する 質問者

平田文夫・高宮陽一
福田 晃・小野昌士
是津輝和・斎藤幸広
池田信博

新型インフルエンザ 予防接種対策費は？ 9万円

平田議員 接種するのはインフルエンザ医療関係従事者か。
総務課長 新型、季節型に関係なく集団的に医師に依頼する費用だ。
平田議員 今回、インフルエンザの対策費が計上されていないが大丈夫か。
総務課長 一般の臨時議会の予算で対応する。
平田議員 隠岐のインフルエンザのピークは10月下旬と言われているが対応出来るか。
総務課長 まずは補正予算で対応し、必要があれば流用や予備費で対応する。

平田議員 インフルエンザの予防薬「タミフル・リレンザ」の町内備蓄は大丈夫か。
総務課長 一定の備蓄はある。



選挙執行費用の 時間外手当は？ 90万円

平田議員 町議選挙開票事務職員残業手当とあるが、立会人、選挙管理委員は関係ないか。
総務課長 立会人、管理者には支払っていない。
平田議員 開票事務の遅れたことの総括をしたか。
総務課長 一番の原因は集計業務に時間を費やしたことや集計システムに問題があった。
平田議員 町費の無駄遣いではないか。
総務課長 調査する必要がある。

児童公園施設の 遊具整備は？ 549万円

高宮議員 町有地にある施設の遊具を整備するようだが他の児童公園的な施設はどうするか。
企画財政課長 今回の整備は町有地にある施設の遊具を整備するもので、



もっと整備を！ 子どもの遊び場

八尾川観光遊覧船 購入事業は？ 963万円

高宮議員 運営方法が決まっていないことだが事業の目的と効果をどのように考えているか。
観光商工課長 定期観光

地元の方々と利用状況などを協議し必要であれば更新する。
高宮議員 児童公園的なものは条例化をして整備する考えはないか。
企画財政課長 児童公園という場所が他にもあるので、今後、関係課で協議し対応する。

バスが廃止になり個人向けの観光商品が少ない。「気軽に観光できる商品」「体験・学びの要素を取り入れた商品」として、満足度アップ、観光客の増大が見込まれる。
高宮議員 将来展望・利用者の見込み数は。
観光商工課長 初年度は7350人(1日平均40人)、5年後は1万3600人(1日平均65人)を見込んでいる。
高宮議員 運営事業費の概算は。
観光商工課長 初年度は約1000万円で経常利益は70万円、5年後は2000万円で経常利益を470万円見込んでいる。

高宮議員 運営方法が決まっていないのに遊覧船を購入するのは行政手法として余りにもお粗末だ。どのように考えているか。
観光商工課長 委託先は慎重に選定し、観光協会とも協力して隠岐の観光の目玉としたい。
高宮議員 将来、イカ釣り舟とならないように。



環境整備も急がれる八尾川遊覧

斎藤幸議員 3年前に公設民営で白島・ローソク島遊覧船事業が取り組まれたが厳しい運営状況だった。なぜ、そうだったのか。
観光商工課長 観光客が年々減ってきたこと、お客のニーズが白島遊覧からローソク島遊覧に変化し、既存の運航遊覧船と競合するので対応できなかった。
斎藤幸議員 先に運航計画を立て、それに合わせて利用客数を出しており運航試算は机上の空論ではないか。
観光客数の動向や利用客数の割合を考えて運航

計画を立てるべきだ。
観光商工課長 利用人数は月々の見込み数を積み上げたものではないが、年間13万5000人の観光客の中で7000人程度の利用を見込んでいる。

**企業の農業参入
連携支援事業は？
1755万円**

高宮議員 それぞれの事業の具体的な内容は。
農林水産課長 しいたけの加工品開発と販売促進を図るもので、安定供給するため施設を拡大するもの。もう一つの事業は子牛生産を50頭に増やし安定経営を図り、同時に牛舎の監視システムを整備して管理の適正化を図るもの。



**西郷南中の
バリアフリー化事業
は？ 230万円**

池田議員 西郷南中に階段昇降機を1基追加する計画は、なぜ当初から計画しなかったのか。

教委総務学校課長 当初保護者・学校など関係者と協議検討したが、その時点では不要であるとの結論だった。その後、先生や生徒に迷惑がかかるとの申し出があり、再度検討した結果、設置することとした。

**学校ICT環境
整備事業は？
3428万円**

池田議員 学校ICT環境整備事業で教員用パソコン134台を購入する計画だが、これで整備は完了するのか。
教委総務学校課長 今回の整備で全教員に配置できる。



塗装工事が進む大橋

**西郷大橋
改修事業は？
2953万円**

福田議員 改修事業の内容説明を。

農林水産課長 10年前にも行ったが、橋の再塗装とボルト・ナットの点検などの補修工事である。総事業費は、1億5000万円で、町負担は総額3900万円。

**条件不利森林公的
整備特別事業は？
888万円**

福田議員 間伐事業を搬出と切捨てに区分けしているが、切捨ては豪雨時の土砂災害の原因となる恐れもあるので搬出すべきではないか。

農林水産課長 地形が悪く搬出するために多額の費用がかかる場所は切捨

**防災行政無線
整備事業は？
2480万円**

福田議員 3月議会で議決した都万地区の個別受信機の整備事業であるが早急に購入して取り替えるべきだ。
総務課長 当初計画に、親局の操作卓整備を加えたため遅れている。迷惑をかけており早急に整備する。

**下水道特別会計
一般会計繰入金は？
94万円**

小野議員 公共下水道が稼動したが、当面、運営費等は一般会計からの繰出金頼みになると考えられる。何年ぐらい繰出金が必要か。
下水道課長 平成20年度は人件費等を含め1億9000万円であり、当面、



動き始めた西郷浄化センター



整備が進む町営住宅

**町営要木住宅
環境対策事業は？
37万円**

斎藤幸議員 水道を使用した時の騒音が隣接の住宅に影響を与えるとのことだが、原因は設計上の問題か、それとも施工上の問題か。
建設課長 壁は二重張り騒音対策はされている。調査の結果、水道管の振動が流しの鉄板に伝わり共鳴して騒音となっており、当初は予測できなかった。

医療対策特別委員会

吉田政司

特別委員会では、昨年12月議会で提言していた「各歯科診療所（都万歯科・五箇歯科診療所各1名）の医師2名体制を1名にすること。」と、併せて「産婦人科医師の招聘」を掲げ、その実現に向けて取り組むことを決めた。

9月9日の委員会では町執行部から委員会提言に対する検討状況の中間報告があった。その内容は、「都万歯科診療所、五箇歯科診療所を1名の医師で診療し、中村歯科診療所は他の医療機関に診療を任せる。」というものである。



委員会ではこの報告に対し、結果に至った事由を精査した上で見解を示すことにした。

6月26日には、隠岐病院事務部長、病院整備課長から新しい病院の整備方針、目指す病院像、病院の現状と課題について説明を受け、7月6日には、町の保健福祉課長から町内各地域で行われている健康教室など保健活動の実情について説明を受けた。

※用語の説明
「ICT」とは？
Iは情報、Cは通信、Tは技術の略称。

総合交通対策特別委員会

斎藤 昭一

委員会では、それぞれ利用者の利便性の確保を目指し、次の3項目を調査・研究することを確認した。

- ① 隠岐空港利用促進
- ② 隠岐航路整備促進
- ③ 生活交通網整備促進

生活交通網の整備について、隠岐の島町地域公共交通会議の検討状況の報告を受け、島根県内の事例を参考に、交通弱者の高齢者や免許のない方、日常の通院や買い物に支障のないような新交通体制の調査・検討を進めていくことを確認した。
廃止バス路線の代替運行やコミュニティバス運行は、利用者との意見調整を行い弱者の足を確保する取組みが急務である。
西郷港メガフロートに切符売場の設置を要望し



メガフロートにも切符売り場が！

乗船状況は、4月から7月までの前年比較では乗客数は減少、一方、車両は増であった。旅客運賃・車両運賃の増収、更に、燃料費の値下がりにより経常利益の増につな

がった。今後、油槽タンク施設が稼働しタンクローリーの航送がなくなれば車両航送料の大幅減が予想されるため、一般車両増の対策と利用客の増に取り組む必要がある。
隠岐空港の利用状況は7月17日から8月30日までのジェット利用率は上下便合計で76・9％となり目標の80％に達しなかった。しかし、8月10日から20日までの11日間に74人乗りが就航し、1000人の乗客があったため、総合的な需要は充分として、日本航空には高評価が得られ、次年度の運航にもよい手ごえがあった。
課題として、各種団体や役所の方々の利用を募らなくても実績が安定維持できるような施策が望まれる。また、個人客が団体客の数値を上回ったことは大いに意味がある。次年度に向けて旅客動向を精査し、町内の観光施設・宿泊施設・イベント、交通体制などの整備が必要である。



池田信博議員

広域連合への
行財政改革の提言は
指定管理者制度における
問題点の解決は

一般質問

4人の議員が町政をたずねる！

質問した議員
(順不同)
池田信博・前田芳樹
是津輝和・斎藤幸広



是津輝和議員

学校整備は
民意の反映を

議員 五箇小学校舎は築後50余年が経ち、老朽化が激しく、大変危険だ。現在、耐震診断を実施中で補強が可能との診断結果が出た時は補強改修することのだが、五箇村時代には、『五箇小学校舎建設委員会』を設置して民意を集約し、木造で新築との結論であったのにこの度は民意が反映されてないのは何故か。また校庭が大変狭く、100m走の直線コースも取れないがどう改善するか。
教育長 3月に保護者会及び、区長会で耐震補強が可能であれば現校舎を補強・改修する旨を説明し理解を得られたと判断している。校庭は拡張の計画は無いが、100m走等は五箇町民運動場を利用してほしい。
議員 保護者会や区長会での説明では、民意を集



約したことにはならない。町民主体のまちづくりを定めた隠岐の島町まちづくり基本条例でも「町はまちづくりに関する計画を策定するときは広く町民の参加を得ておこないまちづくりに関する重要な事項を決定する時は、事前に提言を受け、町民の意見を十分に反映しなければならぬ」とある。五箇小の整備は重要である。
議員 保護者会、区長会教育懇談会、まちづくり懇談会での説明で民意合意は出来ていると云われるが認識不足も甚だしい。計画の段階から町民の意見を反映するのが民意の集約だ。町内児童の平均値が全国平均を上回っているからといって五箇小校庭が狭くても良いとの理由にはならない。
(以下、同様の答弁を繰り返す。)



前田芳樹議員

農業公社と農地保全体制は
公共交通体系の整備促進は
国の叙勲受賞者への顕彰は



議員 町は、町が設置した農業公社組織検討委員会の答申通りでの組織の見直しを公社に要請したが、答申の条件である検討課題6項目を町が解決しない限り、合意形成は困難である。将来の農地保全体制をどうするべきか、強権発動ではなく、公社と直接良く話し合っ

は町の組織検討委員会の答申通りで決定されたと聞き、来年度実施に向けて検討を進めている。
議員 社会機能が西郷へ一極集中し、西郷へ行けるバスを10時と3時にも一便欲しいと周辺地区で強い要望を聞いている。多額の補助金を出す割には運行に地域ムラがあり西郷から遠い周辺集落は整備されていない。交通弱者を救済する体制はどうするか。
町長 隠岐の島町地域公共交通会議から10月末に提案をもらう予定である。議員 町役場から推薦を受け、皇居まで自費で行き、叙勲を受けたが役場からは何の祝辞もなく、町の広報にも掲載されず淋しい思いをした。これからの方のためにも指摘をして欲しいとの受賞者の声だ。叙勲を受けることは感慨もひとしおのはず、顕彰はどうしているか。
町長 本人に対してお詫びをしたい。今後、検討する。



斎藤幸広議員

農用地の
維持管理は



議員 年々、基盤整備された水田でも耕作放棄地が増えてきた。一方で、世界的な人口爆発、中国・インドなど人口大国の経済成長によって将来食糧危機に見舞われると言われている。将来を見越した農地確保対策、農業政策の基本方針をどう考えているか。
町長 食糧危機に備えた対策は国の政策として取り組むべきであるが、離島独自の取組みも必要であり、自立に向けた対応をすべく国にも働きかけ、地産地消の取組みを通して自給率の向上を図る。
議員 いま取組んでいる耕作放棄地対策と今後の計画はどうか。
町長 昨年、実態調査と経費を算出するための調査をした。今年度から3年間、国の補助金を利用して31haの耕作放棄地の解消に取り組む。
議員 この対策の中で、農業公社の位置づけはどうなっているか。
町長 農業公社は、地域耕作放棄地対策協議会の構成員であり、町と協同して農家の意向調査、解消作業、担い手への貸付などにあたる。
議員 今回の対策に含まれていない水田・畑の耕作放棄地の調査と対策はどうするか。
町長 将来、必要であれば他の農地も対象とする。議員 農家、新規就農者が希望の持てるような町独自の農業政策が必要ではないか。例えば本土から億単位の金額で入ってくる野菜の島内生産、自給率向上を目指した新規就農者育成、企業参入への取組みには、町の財政出動も視野に入れた政策の立案が必要ではないか。耕作放棄地解消事業では町が全額出資している農業公社が一構成員にとどまらず、中心的な実施主体となるべきではないか。
町長 公共事業が激減する中で、農林水産業が島の基幹産業だと考えており、この振興が今後の大きな課題である。
議員 農業公社は、公社本来の仕事が出来るように、また、放棄地対策にも取り組めるような体制を整える。

総務産業建設常任委員会

◆委員長報告

石田茂春

審査の状況

□平成20年度決算関係

◇平成20年度決算における町の財政状況は、依然として厳しい現状で推移しており、今後も更なる行財政改革の推進を図り、財政健全化に取り組むことが喫緊の課題である。

◇旧最終処分場が廃止となったことで、従来から名田地区環境整備費としての補助金は中止するよう、今後、地区と協議することを指摘した。

◇浸出液処理施設保全業務は地元にて行なうことが出来ないか、検討するよう指摘した。

◇県事業の地元負担金は財政課と協議し整理して提出するよう指摘した。

□補正予算関係

◇水道料、下水道料の料金改定は平成25年度を予定しているが、今後、審議会を設置し慎重に行なうよう指摘し、料金等の滞納についても全力で徴収するよう指摘した。

◇戸別受信機は、町民の安全・安心のためにも、一日でも早い取替えをするよう指摘した。

◇八尾川観光遊覧船事業は十分な計画（修景整備を含む）を立て、委託先をはじめ、周辺のプライバシー保護等に十分配慮するよう指摘した。

◇遊覧船を「公」が購入し「民間」が運営する方法は問題があるという意見も

あったが、賛成多数で「可決すべし」という結果となった。

調査研究事項

西郷浄化センターを視察し事業の進捗状況の説明を受ける。

現在、接続可能となっているのは352件であるが、その内、接続しているのは53件である。また、融資制度を利用しているものは8件となっている。

教育民生常任委員会

◆委員長報告

安部和子

審査の状況

□平成20年度決算関係

◇平成20年度会計決算では、国民健康保険事業の現状で、加入者の一人当たりの平均医療費は28万710円で県下21市町村中21位、後期高齢者の一人当たりの医療費は56万8300円で県平均73万7760円を下回っている。この要因の一つとしては、積極的な保健事業の効果と思われるので、今後とも積極的に保健事業に取り組むことが必要である。

◇決算資料等は事業評価をして記載しておくよう指摘した。

□補正予算関係

◇新型インフルエンザに対する危機管理体制について万全を図るよう要望した。

◇教育委員会は、児童生徒の学力向上と健全育成に更なる努力を図ると共に、学校再編による通学路整備等充実を図るよう指摘した。



調査研究事項

島後小中学校校長会と意見交換を実施

9月4日、島後小中学校校長会と意見交換を実施した。

今春の学力調査結果の対応について10校から取り組み状況が報告された。報告では、家庭学習習慣が課題とされ、各学校では、「課外授業」や「わかる授業」を心がけ、先生の授業力向上に努める等、全教員で学力向上に取り組む姿勢が伺われた。学校再編については、交流学習を頻繁に実施し人間関係も各学校お互いに関わりを持つよう心がけているとのことである。



浄化センターを視察

隠岐広域連合議会報告

高宮陽一

平成21年第3回定例会が9月10日開催され提案された議案を全て承認したので、その概要を報告する。

農業共済事業運営協議会委員の欠員は、隠岐の島町議会から選出された松森豊議員と遠藤義光議員を選任した。

平成20年度の各会計歳入歳出決算が提案されたが、決算審査は決算審査特別委員会を設置して後日審査する。

隠岐病院事業会計補正予算の専決処分は、国の経済危機対策により本年6月に創設された「医療施設耐震化特例交付金制度」の補助申請をするため病院建物の耐震診断を実施する。調査費用として10000万円を補正するもの。

消防事業会計の補正予算は、新型インフルエンザ対策のため、救急隊員が安全・迅速に患者輸送

議員の各種研修

隠岐島町村議会議員研修 島根県町村議会議員研修

9月30日、松江市のソフトビジネス島根において、隠岐島内の町村議会議員と議会事務局職員との研修が開催され、関係者47名が参加した。

ソフトビジネス島根を管理している財しまね産業振興財団は、県内企業の競争力強化を通して県勢の拡大を目指す総合的産業支援機関で、経営の



講演を聴く町村議会議員

改革に意欲的な企業、成長可能性の高い企業や創業者を経営・技術・販路の面からサポートしている。

10月1日には、島根県町村議会議員研修会が開催され、県内13町村から約200名の議員が参加した。

講師である中央大学教授の佐々木信夫氏からは「政権交代と地方分権、町村議会の今後」と題し、地方議会をどう変えていくのか、役場をどう変えるかといった興味深い講演があった。また、共同通信社の論説委員長である西川孝純氏は、「鳩山新政権で変わる日本の政治」という内容で、平素、私たち議員が知らない国会の裏話などを含めて、今後の政治の行方についての貴重な講演だった。

教育民生常任委員会

行政視察研修

○鳥取県 湯梨浜町
○島根県 雲南市

7月22日から24日に、本町の学校給食における「地産地消」の推進のため、先進地事例として、鳥取県湯梨浜町と島根県雲南市の学校給食における地元食材の利用状況等を視察した。

湯梨浜町は、県が平成12年から「地産地消」を推進し、JA鳥取中央がこれに取り組み、特産品を県内外にPRして農業振興を図り給食用物資供給も行なっている。市場開発部の販売総額の平成21年度目標額は10億3千万円であり、多くの雇用の場となっている。

県、JA鳥取中央、そして町と教育委員会が支援する中でそれぞれの特色を生かした給食センターが運営されていた。



湯梨浜町の関係者の皆さんと

島根県雲南市では、平成5年、旧木次町長の発案により中山間地の農業振興と健康な子どもの体力づくりを目標に「農産物生産と学校給食を考える懇談会」を皮切りに取り組み、平成6年には、木次町学校給食野菜生産グループを設立している。

無農薬のため洗浄や調理等に時間がかかるが、子ども達は野菜が好きになり、農業にも関心を寄せるようになった。後継者の育成は今後の課題とのこと。

大久地区の皆さんとの 懇談会



地区の皆さんとの懇談会のあり方は？

9月6日、大久地区の集会所において地区の皆さんと、議会からは議長ほか各委員長が参加して懇談会を行った。

各常任委員長や特別委員会の委員長からは、それぞれの委員会で取り組んでいる町の重要課題や委員会の役割等を説明し地区の皆さんからは、「議会の皆さんで地区をまわってほしい。」「地区の現状を町政に反映してほしい。」などの意見があった。また、議会からは「もっと議会の傍聴にも来てほしい。」「住民の皆さんを巻き込んだ活動も検討したい。」等、地区の皆さんがもつともつと議会に関心を持つてもらおうよう要望した。

今回のような活動は、今後、議会内において検討することが必要である。

皆さんの 請願・陳情など

採 択

■ 肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書提出の陳情

・ 提出者 松江市
薬害C型肝炎しまね
弁護団代表
妻波俊一郎氏

※議員提出議案として意見書を議決し、衆参両院議長ほか関係大臣に意見書を提出した。

■ 町道（都万目集落循環道路）の拡幅を求める陳情書

・ 提出者 都万目地区
集落長 日野俊郎氏
ほか役員一同

趣旨採択

■ 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策の陳情

・ 提出者 全日本海員
組合中四国地方支部
長 三次二郎氏

■ 後期高齢者医療制度をめぐる陳情書

・ 提出者 松江市
島根県社会保障推進
協議会会長
池淵栄助氏

継続審査

■ 隠岐温泉GOKA運営存続に関する陳情書

・ 提出者 五箇地区
区長会会長
田中井敏勝氏外4名

全国離島振興 市町村議会議長会 会長に就任

7月24日、全国19都道府県87市町村で組織する全国離島振興市町村議会議長会の臨時総会が開催され、隠岐の島町議会の米澤議長が会長に就任した。

この会は、全国の離島にある市町村の議会議長及び離島を有する市町村の議会議長が構成員で、離島振興のための諸問題を解決するための施策を促進し関係地域の振興発展を目的としている。任期は2年間。

編集後記

10月10日、都万目井地区で平成19年8月豪雨災害復旧事業竣工の記念式典が開催された。時間雨量130ミリを超えるゲリラ的な豪雨により多大な被害をもたらした。551箇所の災害復旧工事は総額66億4600万円。2年余りで住民の暮らしは取り戻されたが、地球温暖化が危惧され気象状況も大きく変わってきた。「備えあれば憂いなし」ということわざがあるように、平素から災害に強い、安全・安心の町づくりを推進することが求められる。

お詫びと訂正

先月号の中財産区管理会員の内、「田中亨」氏の名前は、正しくは「田中亮」氏でした。また、総務産業建設常任委員会の滞納対策で不能欠損額を3900万円と記載しましたが、390万円の間違いでした。お詫びして訂正します。

